

# 令和3年度学校自己評価システムシート (県立岩槻商業高等学校)

目指す学校像	確かな専門性と良識を持った職業人を地域とともに育む
--------	---------------------------

重点目標	1 確かな学力を定着させ、専門性を高め、経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成する。 2 規範意識の醸成を図り、豊かな心と健やかな体を育成する。 3 保護者や地域と連携・協働し、地域の学校として信頼される教育活動を実践する。 4 生徒の多様な進路希望の実現を目指し、キャリア教育の視点に立った進路指導を実践する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	[現状] 学び直しや資格取得の学習及び指導は定着しており、生徒の学習意欲も向上傾向にある。 [課題] 指導と評価の一体化に重点を置き、指導の質を高めるために、観点別評価による学習評価を適切に推進する必要がある。	指導と評価の一体化を基盤とした協調学習やICT活用を推進して分かる授業を行う。	①協調学習を中心とした授業研究による指導力の向上 ②ICTを活用した分かる授業の実践	①研究授業の実施回数 ②ICT活用頻度 ①②観点別評価の実施状況			
		生徒の資格取得を推奨し、目標とする検定に合格させる。	①教科・科目の目的や内容に即した資格取得指導の実施 ②上位資格取得指導の実施	①埼玉県高校生専門資格等取得表彰の表彰率7割以上 ②上位資格合格者の増加			
2	[現状] 生徒の身嗜みやチャイム着席等、基本的な生活習慣は定着しており、感染防止対策を徹底しており、安心保障に努めている。 [課題] 自転車等による事故や人間関係による行き違い等のトラブルの未然防止が求められる。	生徒の人間力(知的能力、社会・対人関係力、自己制御)を高める指導を行う。	①社会人としての観点による生活指導の実践 ②部活動実績や生徒の様々な活動を奨励する指導の実施	①学校生活アンケートの指標上昇 ②部活動実績や生徒の活躍の状況			
		安全・安心な学校生活を実現する。	①交通安全巡回指導、いじめ防止の組織的指導の実施 ②感染防止対策の徹底、防災・安全対策指導の充実	①交通事故件数の減少、いじめ問題等への取組状況 ②感染防止対策の状況、防災・安全対策指導の状況			
3	[現状] 昨年度は感染拡大防止の観点から、学校説明会等の回数・規模等を縮小した。行事公開や地域等との交流も多くを中止した。 [課題] コロナ禍における積極的な情報発信、地域貢献の取組等を検討する必要がある。	状況に応じた広報活動を実践する。	①学校説明会等の工夫・改善 ②学校ホームページ上による情報提供の充実	①感染防止対策を徹底した上での参加者数増加 ②アクセス数増加 ①②本校への志願倍率上昇			
		地域の教育力を活用するとともに、地域に貢献する。	①「未来の職業人材育成事業」等による外部教育力活用 ②地域貢献の企画提案・実践	①外部指導力の活用状況、新たな取組の実践状況 ②地域貢献の実践状況			
4	[現状] 例年、就職内定率100%を実現している。昨年度は校外での活動(バス見学会、インターシップ等)の実施を見送り、校内での進路指導のみを行った。 [課題] キャリア・パスポート、eポートフォリオ等を活用した、継続的かつ体系的なキャリア教育の充実を図る必要がある。	生徒の進路希望の実現と進路意識を向上させる。	①1年生は、中学校からのキャリア・パスポートを継続かつ発展させる指導の実施 ②2年生は、総合的な探究の時間を中心としたキャリア教育の実施 ③3年生は、具体的な進路実現に向けた、個に応じた進路指導の実施	①キャリア・パスポートを活用した指導の実践回数等(目標、月1回以上) ②総合的な探究の時間の指導内容の充実度上昇 ③進路実現率、進路指導に対する「満足度」状況			

学 校 関 係 者 評 価			
実施日	令和	年	月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等			